

教材 5

軽い気持ちの ID 交換から...

シナリオ・スライド

<p>導入編</p>		<p>新発売のゲーム機を買ってもらったけいこさん。通信機能が充実していることを知り、早速街を歩いてみました。ちょっと歩いてだけで5人の人と通信していました。そんな中の一人がカタツムリと名乗る人でした。カタツムリは自分が近くの小学校6年生の女の子と伝えてきました。</p>
		<p>翌日、カタツムリから ID 交換の申込みがありました。けいこさんはちょっと悩みましたが、「よいお友達になれるかもしれない」と自分の小学校名を伝え、応じてしまいました。しばらくカタツムリとのやりとりをしていると、写真交換の申込みがありました。相手の送ってきた写真を見て、自分も送ってしまいました。</p>
	 	<p>すると友達の写真も送ってほしいという要求が届くようになり、けいこさんは断りました。すると態度を変えたカタツムリがドクロのマークを送ってきました。そして、ついにはけいこさんの写真を悪魔に変え、実名で指名手配の掲示板に載せてしまいました。友達に相談すると、それは大人の人ではないかという答えでした。けいこさんはあぜんとしてしまいました。</p>
<p>解説編</p>	 	<p>最近のゲーム機は高度化し、ゲーム機同士の通信機能を使ったり、携帯電話やスマートフォンのようにインターネットを利用して、遊んだり会話をしたりすることができます。けいこさんは、カタツムリと名乗る大人の男を、すっかり小学校6年生の女子と思い込んでしまいました。カタツムリは、車の中でゲーム機を操作し、通信した瞬間に通った人を調べていました。たまたまけいこさんの近くにいた水玉模様の子になりすまし、車であとをつけて家を見つけたのです。</p>
	 	<p>このように、インターネット上で知り合った顔の見えない人は、簡単に嘘（うそ）をつくことがあります。けいこさんは、カタツムリを小学校6年生の女子と勝手に信じ込んでしまったため、怖い思いをすることになりました。インターネット上で知り合った人を簡単に信用することは危険です。またけいこさんは、カタツムリをどのような人か確かめないうで写真を送ってしまいました。これも危険なことです。けいこさんの写真は悪魔に変えられて掲示板に掲載されてしまいました。これは、世界中の人から見られる可能性があります。また、一度インターネット上に公開されたら、完全に消すことはできず、大人になってもずっとインターネット上には残ってしまいます。</p>
		<p>あなたは、道端で突然声をかけられた人とすぐに友達になれるか？ 道端で突然声をかけられた人に簡単に写真を渡したり、個人情報を教えたりしますか？ 現実の世界でしないことは、インターネット上で知り合った顔が見えない人にももちろんしてはいけません。</p>
		<p>そして、もしいやな思いをしたり、危険を感じたりしたときは、被害が大きくなる前に、隠さずすぐに保護者や学校の先生、場合によっては警察や人権相談の窓口にご相談しましょう。</p>